

看護部通信

#IOSPY

2016.10.1 発行 第47号

ホスピーグループ腎透析事業部看護部

新人教育

喫茶ベーシック店へようこそ!

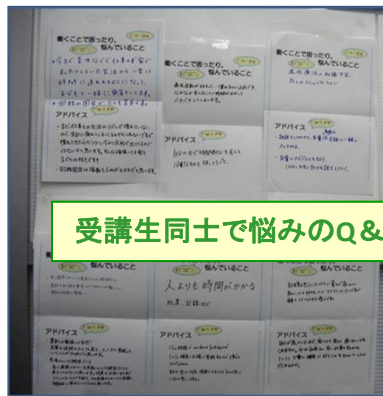
現任教育委員会: 村瀬智恵美・茶円美保
山田裕香・平良梓・澤村美海・三輪八千代



2016年7月2日、13日の2日間で新人職員47名が受講しました。今年度は「対話」を大事にしたいというミッションから喫茶店風な会場作りをしました。研修目的の「自己啓発、メンタルヘルス、アサーション、仲間作り」などを受講生には楽しく学んで頂きました。最後は「置かれた場所で咲きなさい」(渡辺和子著)の本の一部を澤村師長が静かに心を込めて朗読し、終了しました。



アイスブレイクで自己紹介



受講生同士で悩みのQ&A



メンタルヘルス(瞑想中)



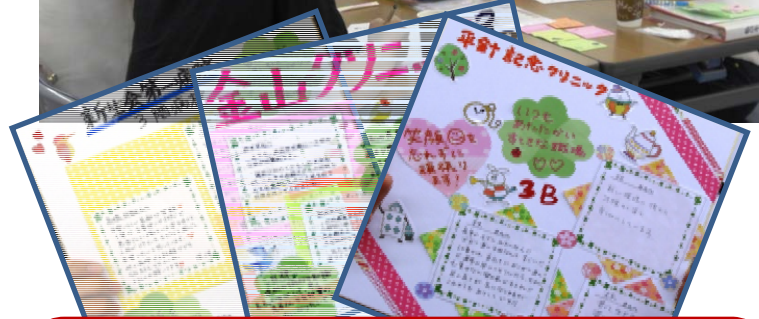
「どう伝える？」アサーショントレーニング



くつろぎ中



仲間づくり



受講生からの意見

新人の方と悩みや目標が共有できて良かった。悩んでいるのは自分ひとりではないのだとわかって「ほっ」とした。先輩方からのメッセージカードがとても嬉しかった。

鳴海クリニック

昨年よりスタッフのリフレッシュ向上のため福利厚生にスポーツクラブNAS大高が追加されました。身体を動かし、ストレス解消、健康な身体を作り、仕事への意欲も向上中！（担当：笹井）

仕事の疲労やストレス解消に利用しています。自分へのご褒美になり心身のケアにもなっています。

沢山汗をかいて気分爽快！

スポーツクラブの利用は以前から興味があり利用できるようになりすごく嬉しい！！鳴海クリニックに来てよかったです。

途中で疲れたら休憩でき、自分のペースでできるので負担はありません。

続けて健康な身体を作りたいです！！

日頃の疲れがとれスッキリ！

利用しているスタッフの声



働きやすい職場作りへの取り組み！（パート2）

新人も現場スタッフも安心して働ける教育体制への取り組み

金山クリニック



今年3月～5月、7人の新人看護師が入職しました。多人数の教育に対し、現場の混乱が懸念されたため、新人も現場スタッフも安心できるよう教育体制を工夫しました。これまで、HFKの取り付けや穿刺などのOJTは各配属場所で行い、午後から知識面の講義を集合教育で行ってきました。今回は、新人が仲間づくりもできるよう、午前から集合教育で基礎知識の講義と穿刺の演習を行い、座談会も設けました。今回多くの課題もありましたが、この取り組みを活かし継続して働いていける職場づくりの向上に努めたいと思います。（看護師長 山内 要）

現場の声

- ・人手がなく忙しい時、現場で一から教える必要がなく、負担が少なかった。
- ・集合教育によって、教える側のバラつきがなくなるので良いと思う
- ・新人どうしの連帯感が見られた
- ・集合教育をしている間の新人の反応が知りたかった

新人の声



同期で話す時間が多くて、仲よくなった

疑問点をお互いに聞くことができた

悩みや不安、感情を共有できた

習得状況ノートを通じて、不安や苦手を先輩に伝えて助言をもらえ、見てもらっている実感がうれしかった

習得度を他の新人と比較し焦った

時間をかけて穿刺の演習ができたため、実際患者に穿刺する時、不安が少し和らいだ

患者との関係性が希薄の中、穿刺してもいいのかなあ

同期の仲間と切磋琢磨しながら成長している姿を見ると、たくましく思います。座談会により仲間の絆がより強くなっているのを感じ、教育担当としてうれしく思います。

教育担当 田中 希主任

ストレスチェック制度が義務化されました！ 正しく理解しましょう

腎透析事業部看護部
保健師 江崎真知子

腎透析事業部においては、年1回の“からだところ”の健康診断と位置づけ、新生会第一病院、十全クリニック、三事業所は6月、サテライトは10月に実施します。ストレスチェックの基礎について、Q&Aでお伝えします。



Q:いつから制度されたのですか？

A:H26年の労働安全衛生法の改正により、今年度より**職員50人以上の職場**に対して、年1回ストレスチェックが義務づけられました。
(職員50人未満の職場は、当分の間努力義務ですが、**腎透析事業部は全施設を対象**としました)

Q:なぜ、このような制度ができたのですか？

A:背景には、職業生活で強いストレスを感じている職員の割合が高い状態で推移していることや、**精神障害の労災認定件数が3年連続で過去最多**を更新しているからです。

Q:ストレスチェックは何のためにやるのでしょうか？

A:職員が自分のストレスの状態を知ること、ストレスをため過ぎないように対処したり、病院側には仕事の軽減などを検討してもらったり、ストレスが高い状態の場合は医師の面接を受け、助言を得て、職場の改善につなげることで、**「うつ」などのメンタルヘルス不調を未然に防止するための仕組み**です。

Q:うつ病の人を見つけるためですか？

A:違います。57項目のストレスチェック表に答えていただき、①心身のストレス反応②仕事のストレス要因③周囲のサポートの3つの要素で判断し、**メンタル不調の一次予防**をするためです。



Q:受けるのは義務ですか？

A:受ける義務はありません。しかし、この機会にご自分の**ストレス状態を知るチャンス**ですので、受検をお勧めします。(ちなみに定期健康診断は受診する義務があります)

Q:受検結果は、職場の上司や病院に報告されますか？

A:**本人の同意が無い限り、職場に報告されません**。ストレスの状況の結果は、実施者(産業医・保健師)のみが把握しています。(ちなみに定期健康診断の結果は、職場が把握する義務があります)



ストレス対処の第一歩は、正しくご自分のストレス状況を知ることです！

新生会第一病院は、新築移転します

新生会第一病院 看護部長 宮下美子

新生会第一病院は1971年創立以来、現在の地で当時からのレンガ造り5階建ての建物で透析医療を提供しています。

2018年春(予定)に、名古屋市天白区高宮町に移転することになりました。新病院は、一般病棟48床、在宅復帰強化型療養病棟48床、長期療養型療養病棟48床、透析室100床と拡充します。高台から望む自然豊かな街並みの中で、安心と安らぎを提供できると思います。

ホスピーグループの要の新病院として、腎臓病・透析療法の専門的医療を提供します。また多職種が連携して入院から退院まで在宅復帰に向けた支援を充実させて参ります。看護職員にとっても働き甲斐のある病院づくりをめざします。皆様どうぞよろしくお願いいたします。

